観光経営は勘・コツ・度胸・FAX でいいのでは？

観光シンポジウム 2023

京都観光アカデミー連携事業

観光に「経営研究」は必要か？

■主催：京都観光経営管理大学院
■共催：株式会社 KBS 創研
　　S-イノベーション・デザイン株式会社

2023 年 10 月 21 日 （土） 13：00-17：00

12：30 開場

京都大学　国際科学イノベーション棟　５階
シンポジウムホール

お申し込みはコチラ

京都大学経営管理大学院×KBS創研、S-イノベーション・デザイン

観光シンポジウム2023

【観光に「経営研究」は必要か？～観光経営は勘・コツ・度胸・FAXでいいのでは～？】

開催のお知らせ

謹啓　時下益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。
このたび観光産業の発展の一助となるべく、下記シンポジウムを開催致します。つきましてはご多忙のところとは存じますが、この機会に是非皆様のご来場を賜りたくご案内申し上げます。

謹白

■企画趣旨

現場の実感としては、観光経営に必要なのは、勘、コツ、度胸、それに FAX だ、ということもあるでしょうか。つまり、観光に「経営研究」は必要ない、いやもっと言えば。経営に机上の「研究」などいらないという考え方もありそうです。確かに、ただ論文を 1 本書くことだけが目的の研究なら、そういった批難も仕方ないでしょう。一方では、日々直面する問題に対して、しっかりとした問題意識を持ち、きちんと方法を組み立て、論理的に考察する研究は、経営環境を少しでも改善する一助にはならないのでしょうか？

観光業界は、これまで新型コロナウイルス感染症による多大な影響を受けてきただけでなく国家間の紛争や円高を受けての原材料費、費用の高騰、自然災害の発生、さらには現場を支える人員不足と多くの問題を抱えています。

このような諸問題を乗り越え観光業界が我が国におけるリーディング産業として発展していくためには過去の経験によるノウハウのみに依らず新たな視点や知見を得ることが不可欠なのではないかと考えます。

今回のシンポジウムでは、様々なバックグラウンドを持つ方々がそれぞれの視点でこの業界の経営上の諸問題に向き合い研究した結果を発表していただき、その中で観光において経営研究がどのような貢献ができるのか皆様と議論してまいります。

観光に「経営研究は必要か？」

■開催日時　　10 月 21 日（土）13:00～17:00（開場 12:30～）

※ご希望者のみ懇親会を開催します。（会費制@3,000 円）

■会場　京都大学（吉田キャンパス）内　国際科学イノベーション棟　シンポジウムホール（5F）

（定員：約 100 名、先着順）

■コーディネーター　京都大学経営管理大学院　　特定教授　前川　佳一

■基調講演　　一般社団法人 Doer 創設者　　江原　あゆみ 氏

（順不同）　　JTB 総合研究所　客席研究員　　佐藤　郁子　　氏

一般社団法人ツーリストシップ　代表理事　　田中　千恵子 氏

地方創生プランナー（沖縄在住フリーランス）　　村尾　章裕　　氏

■主催　　京都大学経営管理大学院

■共催　　株式会社ＫＢＳ創研、Ｓ－イノベーション・デザイン株式会社

■連携　　京都観光アカデミー

※申込先・お問合せ先/京都大学経営管理大学院　前川研究室　担当：伊藤
E-Mail：itou.mio.4s@kyoto-u.ac.jp